

Q0001

監査・法務・標準

タグ：監査の独立性

用語：監査の独立性の確認ポイント1：監査人が対象業務から独立し客観的に判断できる状態

次の説明に最も合う用語はどれか。監査人が対象業務から独立し客観的に判断できる状態

- A. 監査証拠
- B. 監査の独立性
- C. 個人情報保護法
- D. PCI DSS

答え・解説

Q0001 正答：B. 監査の独立性

解説：監査の独立性は、監査人が対象業務から独立し客観的に判断できる状態。ほかの選択肢は目的又は適用場面が異なる。

Q0002

監査・法務・標準

タグ：監査の独立性

用語：監査の独立性の確認ポイント2：監査人が対象業務から独立し客観的に判断できる状態

監査の独立性の説明として最も適切なものはどれか。

- A. 監査結論の基礎となる十分かつ適切な情報
- B. 個人情報の適正な取扱いと本人の権利利益を保護する法律
- C. 監査人が対象業務から独立し客観的に判断できる状態
- D. カード会員データを保護するためのセキュリティ基準

答え・解説

Q0002 正答：C. 監査人が対象業務から独立し客観的に判断できる状態

解説：監査の独立性の要点は「監査人が対象業務から独立し客観的に判断できる状態」である。名称が似た概念でも、対象とする処理や目的を区別する。

Q0003

監査・法務・標準

タグ：監査の独立性

用語：監査の独立性の確認ポイント3：監査人が対象業務から独立し客観的に判断できる状態

用語と説明の組合せとして適切なものはどれか。論点は「監査の独立性」である。

- A. 監査証拠：監査人が対象業務から独立し客観的に判断できる状態
- B. 個人情報保護法：監査人が対象業務から独立し客観的に判断できる状態
- C. PCI DSS：監査人が対象業務から独立し客観的に判断できる状態
- D. 監査の独立性：監査人が対象業務から独立し客観的に判断できる状態

答え・解説

Q0003 正答：D. 監査の独立性：監査人が対象業務から独立し客観的に判断できる状態

解説：正しい組合せは「監査の独立性：監査人が対象業務から独立し客観的に判断できる状態」。用語だけでなく、何を守り、何を処理する概念かを確認する。

Q0004

監査・法務・標準

タグ：監査の独立性

用語：監査の独立性の確認ポイント4：監査人が対象業務から独立し客観的に判断できる状態

「監査の独立性」は、監査人が対象業務から独立し客観的に判断できる状態。

- A. ○
- B. ×

答え・解説

Q0004 正答：○

解説：正しい。監査の独立性は監査人が対象業務から独立し客観的に判断できる状態。実務では対象、目的、前提条件を併せて確認する。

Q0005

監査・法務・標準

タグ：監査の独立性

用語：監査の独立性の確認ポイント5：監査人が対象業務から独立し客観的に判断できる状態

組織が「監査人が対象業務から独立し客観的に判断できる状態」ために採用すべき概念又は仕組みはどれか。

- A. 監査証拠
- B. 監査の独立性
- C. 個人情報保護法
- D. PCI DSS

答え・解説

Q0005 正答：B. 監査の独立性

解説：この目的に対応するのは監査の独立性である。監査人が対象業務から独立し客観的に判断できる状態という機能・考え方を持つためである。

Q0006

監査・法務・標準

タグ：監査の独立性

用語：監査の独立性の確認ポイント6：監査人が対象業務から独立し客観的に判断できる状態

「監査の独立性」について、誤解を避けるための説明として最も適切なものはどれか。

- A. カード会員データを保護するためのセキュリティ基準
- B. 個人情報の適正な取扱いと本人の権利利益を保護する法律
- C. 監査人が対象業務から独立し客観的に判断できる状態
- D. 監査結論の基礎となる十分かつ適切な情報

答え・解説

Q0006 正答：C. 監査人が対象業務から独立し客観的に判断できる状態

解説：監査の独立性は監査人が対象業務から独立し客観的に判断できる状態。似た用語との違いは、対象、時点、責任又は処理方法にある。

Q0007

監査・法務・標準

タグ：監査の独立性

用語：監査の独立性の確認ポイント7：監査人が対象業務から独立し客観的に判断できる状態

「監査の独立性」は、監査結論の基礎となる十分かつ適切な情報。

A. ○

B. ×

答え・解説

Q0007 正答：×

解説：誤り。記述は監査証拠の説明である。監査の独立性は監査人が対象業務から独立し客観的に判断できる状態。

Q0008

監査・法務・標準

タグ：監査の独立性

用語：監査の独立性の確認ポイント8：監査人が対象業務から独立し客観的に判断できる状態

次の状況で中心となる論点はどれか。「監査人が対象業務から独立し客観的に判断できる状態」ことが求められている。

A. 監査の独立性

B. 個人情報保護法

C. PCI DSS

D. 監査証拠

答え・解説

Q0008 正答：A. 監査の独立性

解説：中心となる論点は監査の独立性である。判断では、説明中の目的語と処理の方向を手掛かりにする。

Q0009

監査・法務・標準

タグ：監査の独立性

用語：監査の独立性の確認ポイント9：監査人が対象業務から独立し客観的に判断できる状態

「監査人が対象業務から独立し客観的に判断できる状態」という特徴を持つもの
を選べ。

- A. PCI DSS
- B. 監査の独立性
- C. 個人情報保護法
- D. 監査証拠

答え・解説

Q0009 正答：B. 監査の独立性

解説：監査の独立性が該当する。定義は監査人が対象業務から独立し客観的に判断できる状態であり、他の候補とは機能が異なる。

Q0010

監査・法務・標準

タグ：監査証拠

用語：監査証拠の確認ポイント1：監査結論の基礎となる十分かつ適切な情報

次の説明に最も合う用語はどれか。監査結論の基礎となる十分かつ適切な情報

- A. 運用有効性テスト
- B. GDPR
- C. 監査証拠
- D. ISO/IEC 27002

答え・解説

Q0010 正答：C. 監査証拠

解説：監査証拠は、監査結論の基礎となる十分かつ適切な情報。ほかの選択肢は目的又は適用場面が異なる。

Q0011

監査・法務・標準

タグ：監査証拠

用語：監査証拠の確認ポイント2：監査結論の基礎となる十分かつ適切な情報

監査証拠の説明として最も適切なものはどれか。

- A. 管理策が対象期間を通じて意図どおり実行されたかを確かめる手続
- B. EU域内の個人データ処理と域外移転などを規律する規則
- C. 情報セキュリティ管理策の実施指針を示す国際規格
- D. 監査結論の基礎となる十分かつ適切な情報

答え・解説

Q0011 正答：D. 監査結論の基礎となる十分かつ適切な情報

解説：監査証拠の要点は「監査結論の基礎となる十分かつ適切な情報」である。名称が似た概念でも、対象とする処理や目的を区別する。

Q0012

監査・法務・標準

タグ：監査証拠

用語：監査証拠の確認ポイント3：監査結論の基礎となる十分かつ適切な情報

用語と説明の組合せとして適切なものはどれか。論点は「監査証拠」である。

- A. 監査証拠：監査結論の基礎となる十分かつ適切な情報
- B. 運用有効性テスト：監査結論の基礎となる十分かつ適切な情報
- C. GDPR：監査結論の基礎となる十分かつ適切な情報
- D. ISO/IEC 27002：監査結論の基礎となる十分かつ適切な情報

答え・解説

Q0012 正答：A. 監査証拠：監査結論の基礎となる十分かつ適切な情報

解説：正しい組合せは「監査証拠：監査結論の基礎となる十分かつ適切な情報」。用語だけでなく、何を守り、何を処理する概念かを確認する。

Q0013

監査・法務・標準

タグ：監査証拠

用語：監査証拠の確認ポイント4：監査結論の基礎となる十分かつ適切な情報

「監査証拠」は、監査結論の基礎となる十分かつ適切な情報。

A. ○

B. ×

答え・解説

Q0013 正答：○

解説：正しい。監査証拠は監査結論の基礎となる十分かつ適切な情報。実務では対象、目的、前提条件を併せて確認する。

Q0014

監査・法務・標準

タグ：監査証拠

用語：監査証拠の確認ポイント5：監査結論の基礎となる十分かつ適切な情報

組織が「監査結論の基礎となる十分かつ適切な情報」ために採用すべき概念又は仕組みはどれか。

A. 運用有効性テスト

B. GDPR

C. 監査証拠

D. ISO/IEC 27002

答え・解説

Q0014 正答：C. 監査証拠

解説：この目的に対応するのは監査証拠である。監査結論の基礎となる十分かつ適切な情報という機能・考え方を持つためである。

Q0015

監査・法務・標準

タグ：監査証拠

用語：監査証拠の確認ポイント6：監査結論の基礎となる十分かつ適切な情報

「監査証拠」について、誤解を避けるための説明として最も適切なものはどれか。

- A. 情報セキュリティ管理策の実施指針を示す国際規格
- B. EU域内の個人データ処理と域外移転などを規律する規則
- C. 管理策が対象期間を通じて意図どおり実行されたかを確認する手続
- D. 監査結論の基礎となる十分かつ適切な情報

答え・解説

Q0015 正答：D. 監査結論の基礎となる十分かつ適切な情報

解説：監査証拠は監査結論の基礎となる十分かつ適切な情報。似た用語との違いは、対象、時点、責任又は処理方法にある。

Q0016

監査・法務・標準

タグ：監査証拠

用語：監査証拠の確認ポイント7：監査結論の基礎となる十分かつ適切な情報

「監査証拠」は、管理策が対象期間を通じて意図どおり実行されたかを確認する手続。

- A. ○
- B. ×

答え・解説

Q0016 正答：×

解説：誤り。記述は運用有効性テストの説明である。監査証拠は監査結論の基礎となる十分かつ適切な情報。

Q0017

監査・法務・標準

タグ：監査証拠

用語：監査証拠の確認ポイント8：監査結論の基礎となる十分かつ適切な情報

次の状況で中心となる論点はどれか。「監査結論の基礎となる十分かつ適切な情報」ことが求められている。

- A. GDPR
- B. 監査証拠
- C. ISO/IEC 27002
- D. 運用有効性テスト

答え・解説

Q0017 正答：B. 監査証拠

解説：中心となる論点は監査証拠である。判断では、説明中の目的語と処理の方向を手掛かりにする。

Q0018

監査・法務・標準

タグ：監査証拠

用語：監査証拠の確認ポイント9：監査結論の基礎となる十分かつ適切な情報

「監査結論の基礎となる十分かつ適切な情報」という特徴を持つものを選べ。

- A. ISO/IEC 27002
- B. GDPR
- C. 監査証拠
- D. 運用有効性テスト

答え・解説

Q0018 正答：C. 監査証拠

解説：監査証拠が該当する。定義は監査結論の基礎となる十分かつ適切な情報であり、他の候補とは機能が異なる。

Q0019

監査・法務・標準

タグ：運用有効性テスト

用語：運用有効性テストの確認ポイント1：管理策が対象期間を通じて意図どおり実行されたかを確かめる手続
次の説明に最も合う用語はどれか。管理策が対象期間を通じて意図どおり実行されたかを確かめる手続

- A. 個人情報保護法
- B. 不正アクセス禁止法
- C. NIST SP 800-53
- D. 運用有効性テスト

答え・解説

Q0019 正答：D. 運用有効性テスト

解説：運用有効性テストは、管理策が対象期間を通じて意図どおり実行されたかを確かめる手続。ほかの選択肢は目的又は適用場面が異なる。

Q0020

監査・法務・標準

タグ：運用有効性テスト

用語：運用有効性テストの確認ポイント2：管理策が対象期間を通じて意図どおり実行されたかを確かめる手続
運用有効性テストの説明として最も適切なものはどれか。

- A. 管理策が対象期間を通じて意図どおり実行されたかを確かめる手続
- B. 個人情報の適正な取扱いと本人の権利利益を保護する法律
- C. アクセス制御機能を侵害する行為などを規制する法律
- D. 情報システムと組織向けのセキュリティ・プライバシー管理策カタログ

答え・解説

Q0020 正答：A. 管理策が対象期間を通じて意図どおり実行されたかを確かめる手続

解説：運用有効性テストの要点は「管理策が対象期間を通じて意図どおり実行されたかを確かめる手続」である。名称が似た概念でも、対象とする処理や目的を区別する。

Q0021

監査・法務・標準

タグ：運用有効性テスト

用語：運用有効性テストの確認ポイント3：管理策が対象期間を通じて意図どおり実行されたかを確認する手続

用語と説明の組合せとして適切なものはどれか。論点は「運用有効性テスト」である。

- A. 個人情報保護法：管理策が対象期間を通じて意図どおり実行されたかを確認する手続
- B. 運用有効性テスト：管理策が対象期間を通じて意図どおり実行されたかを確認する手続
- C. 不正アクセス禁止法：管理策が対象期間を通じて意図どおり実行されたかを確認する手続
- D. NIST SP 800-53：管理策が対象期間を通じて意図どおり実行されたかを確認する手続

答え・解説

Q0021 正答：B. 運用有効性テスト：管理策が対象期間を通じて意図どおり実行されたかを確認する手続

解説：正しい組合せは「運用有効性テスト：管理策が対象期間を通じて意図どおり実行されたかを確認する手続」。用語だけでなく、何を守り、何を処理する概念かを確認する。

Q0022

監査・法務・標準

タグ：運用有効性テスト

用語：運用有効性テストの確認ポイント4：管理策が対象期間を通じて意図どおり実行されたかを確認する手続

「運用有効性テスト」は、管理策が対象期間を通じて意図どおり実行されたかを確認する手続。

- A. ○
- B. ×

答え・解説

Q0022 正答：○

解説：正しい。運用有効性テストは管理策が対象期間を通じて意図どおり実行されたかを確認する手続。実務では対象、目的、前提条件を併せて確認する。

Q0023

監査・法務・標準

タグ：運用有効性テスト

用語：運用有効性テストの確認ポイント5：管理策が対象期間を通じて意図どおり実行されたかを確認する手続

組織が「管理策が対象期間を通じて意図どおり実行されたかを確認する手続」ために採用すべき概念又は仕組みはどれか。

- A. 個人情報保護法
- B. 不正アクセス禁止法
- C. NIST SP 800-53
- D. 運用有効性テスト

答え・解説

Q0023 正答：D. 運用有効性テスト

解説：この目的に対応するのは運用有効性テストである。管理策が対象期間を通じて意図どおり実行されたかを確認する手続という機能・考え方を持つためである。

Q0024

監査・法務・標準

タグ：運用有効性テスト

用語：運用有効性テストの確認ポイント6：管理策が対象期間を通じて意図どおり実行されたかを確認する手続

「運用有効性テスト」について、誤解を避けるための説明として最も適切なものはどれか。

- A. 管理策が対象期間を通じて意図どおり実行されたかを確認する手続
- B. 情報システムと組織向けのセキュリティ・プライバシー管理策カタログ
- C. アクセス制御機能を侵害する行為などを規制する法律
- D. 個人情報の適正な取扱いと本人の権利利益を保護する法律

答え・解説

Q0024 正答：A. 管理策が対象期間を通じて意図どおり実行されたかを確認する手続

解説：運用有効性テストは管理策が対象期間を通じて意図どおり実行されたかを確認する手続。似た用語との違いは、対象、時点、責任又は処理方法にある。

Q0025

監査・法務・標準

タグ：運用有効性テスト

用語：運用有効性テストの確認ポイント7：管理策が対象期間を通じて意図どおり実行されたかを確かめる手続

「運用有効性テスト」は、個人情報の適正な取扱いと本人の権利利益を保護する法律。

- A. ○
- B. ×

答え・解説

Q0025 正答：×

解説：誤り。記述は個人情報保護法の説明である。運用有効性テストは管理策が対象期間を通じて意図どおり実行されたかを確かめる手続。

Q0026

監査・法務・標準

タグ：運用有効性テスト

用語：運用有効性テストの確認ポイント8：管理策が対象期間を通じて意図どおり実行されたかを確かめる手続

次の状況で中心となる論点はどれか。「管理策が対象期間を通じて意図どおり実行されたかを確かめる手続」ことが求められている。

- A. 不正アクセス禁止法
- B. NIST SP 800-53
- C. 運用有効性テスト
- D. 個人情報保護法

答え・解説

Q0026 正答：C. 運用有効性テスト

解説：中心となる論点は運用有効性テストである。判断では、説明中の目的語と処理の方向を手掛かりにする。

Q0027

監査・法務・標準

タグ：運用有効性テスト

用語：運用有効性テストの確認ポイント9：管理策が対象期間を通じて意図どおり実行されたかを確かめる手続

「管理策が対象期間を通じて意図どおり実行されたかを確かめる手続」という特徴を持つものを選び。

- A. NIST SP 800-53
- B. 不正アクセス禁止法
- C. 個人情報保護法
- D. 運用有効性テスト

答え・解説

Q0027 正答：D. 運用有効性テスト

解説：運用有効性テストが該当する。定義は管理策が対象期間を通じて意図どおり実行されたかを確かめる手続であり、他の候補とは機能が異なる。

Q0028

監査・法務・標準

タグ：個人情報保護法

用語：個人情報保護法の確認ポイント1：個人情報の適正な取扱いと本人の権利利益を保護する法律

次の説明に最も合う用語はどれか。個人情報の適正な取扱いと本人の権利利益を保護する法律

- A. 個人情報保護法
- B. GDPR
- C. サイバーセキュリティ基本法
- D. 監査の独立性

答え・解説

Q0028 正答：A. 個人情報保護法

解説：個人情報保護法は、個人情報の適正な取扱いと本人の権利利益を保護する法律。ほかの選択肢は目的又は適用場面が異なる。

Q0029

監査・法務・標準

タグ：個人情報保護法

用語：個人情報保護法の確認ポイント2：個人情報の適正な取扱いと本人の権利利益を保護する法律

個人情報保護法の説明として最も適切なものはどれか。

- A. EU域内の個人データ処理と域外移転などを規律する規則
- B. 個人情報の適正な取扱いと本人の権利利益を保護する法律
- C. 国のサイバーセキュリティ施策の基本理念と責務を定める法律
- D. 監査人が対象業務から独立し客観的に判断できる状態

答え・解説

Q0029 正答：B. 個人情報の適正な取扱いと本人の権利利益を保護する法律

解説：個人情報保護法の要点は「個人情報の適正な取扱いと本人の権利利益を保護する法律」である。名称が似た概念でも、対象とする処理や目的を区別する。

Q0030

監査・法務・標準

タグ：個人情報保護法

用語：個人情報保護法の確認ポイント3：個人情報の適正な取扱いと本人の権利利益を保護する法律

用語と説明の組合せとして適切なものはどれか。論点は「個人情報保護法」である。

- A. GDPR：個人情報の適正な取扱いと本人の権利利益を保護する法律
- B. サイバーセキュリティ基本法：個人情報の適正な取扱いと本人の権利利益を保護する法律
- C. 個人情報保護法：個人情報の適正な取扱いと本人の権利利益を保護する法律
- D. 監査の独立性：個人情報の適正な取扱いと本人の権利利益を保護する法律

答え・解説

Q0030 正答：C. 個人情報保護法：個人情報の適正な取扱いと本人の権利利益を保護する法律

解説：正しい組合せは「個人情報保護法：個人情報の適正な取扱いと本人の権利利益を保護する法律」。用語だけでなく、何を守り、何を処理する概念かを確認する。

Q0031

監査・法務・標準

タグ：個人情報保護法

用語：個人情報保護法の確認ポイント4：個人情報の適正な取扱いと本人の権利利益を保護する法律

「個人情報保護法」は、個人情報の適正な取扱いと本人の権利利益を保護する法律。

- A. ○
- B. ×

答え・解説

Q0031 正答：○

解説：正しい。個人情報保護法は個人情報の適正な取扱いと本人の権利利益を保護する法律。実務では対象、目的、前提条件を併せて確認する。

Q0032

監査・法務・標準

タグ：個人情報保護法

用語：個人情報保護法の確認ポイント5：個人情報の適正な取扱いと本人の権利利益を保護する法律

組織が「個人情報の適正な取扱いと本人の権利利益を保護する法律」ために採用すべき概念又は仕組みはどれか。

- A. 個人情報保護法
- B. GDPR
- C. サイバーセキュリティ基本法
- D. 監査の独立性

答え・解説

Q0032 正答：A. 個人情報保護法

解説：この目的に対応するのは個人情報保護法である。個人情報の適正な取扱いと本人の権利利益を保護する法律という機能・考え方を持つためである。

Q0033

監査・法務・標準

タグ：個人情報保護法

用語：個人情報保護法の確認ポイント6：個人情報の適正な取扱いと本人の権利利益を保護する法律

「個人情報保護法」について、誤解を避けるための説明として最も適切なものはどれか。

- A. 監査人が対象業務から独立し客観的に判断できる状態
- B. 個人情報の適正な取扱いと本人の権利利益を保護する法律
- C. 国のサイバーセキュリティ施策の基本理念と責務を定める法律
- D. EU域内の個人データ処理と域外移転などを規律する規則

答え・解説

Q0033 正答：B. 個人情報の適正な取扱いと本人の権利利益を保護する法律

解説：個人情報保護法は個人情報の適正な取扱いと本人の権利利益を保護する法律。似た用語との違いは、対象、時点、責任又は処理方法にある。

Q0034

監査・法務・標準

タグ：個人情報保護法

用語：個人情報保護法の確認ポイント7：個人情報の適正な取扱いと本人の権利利益を保護する法律

「個人情報保護法」は、EU域内の個人データ処理と域外移転などを規律する規則。

- A. ○
- B. ×

答え・解説

Q0034 正答：×

解説：誤り。記述はGDPRの説明である。個人情報保護法は個人情報の適正な取扱いと本人の権利利益を保護する法律。

Q0035

監査・法務・標準

タグ：個人情報保護法

用語：個人情報保護法の確認ポイント8：個人情報の適正な取扱いと本人の権利利益を保護する法律

次の状況で中心となる論点はどれか。「個人情報の適正な取扱いと本人の権利利益を保護する法律」ことが求められている。

- A. サイバーセキュリティ基本法
- B. 監査の独立性
- C. GDPR
- D. 個人情報保護法

答え・解説

Q0035 正答：D. 個人情報保護法

解説：中心となる論点は個人情報保護法である。判断では、説明中の目的語と処理の方向を手掛かりにする。

Q0036

監査・法務・標準

タグ：個人情報保護法

用語：個人情報保護法の確認ポイント9：個人情報の適正な取扱いと本人の権利利益を保護する法律

「個人情報の適正な取扱いと本人の権利利益を保護する法律」という特徴を持つものを選べ。

- A. 個人情報保護法
- B. 監査の独立性
- C. サイバーセキュリティ基本法
- D. GDPR

答え・解説

Q0036 正答：A. 個人情報保護法

解説：個人情報保護法が該当する。定義は個人情報の適正な取扱いと本人の権利利益を保護する法律であり、他の候補とは機能が異なる。

Q0037

監査・法務・標準

タグ：GDPR

用語：GDPRの確認ポイント1：EU域内の個人データ処理と域外移転などを規律する規則

次の説明に最も合う用語はどれか。EU域内の個人データ処理と域外移転などを規律する規則

- A. 不正アクセス禁止法
- B. GDPR
- C. PCI DSS
- D. 監査証拠

答え・解説

Q0037 正答：B. GDPR

解説：GDPRは、EU域内の個人データ処理と域外移転などを規律する規則。ほかの選択肢は目的又は適用場面が異なる。

Q0038

監査・法務・標準

タグ：GDPR

用語：GDPRの確認ポイント2：EU域内の個人データ処理と域外移転などを規律する規則

GDPRの説明として最も適切なものはどれか。

- A. アクセス制御機能を侵害する行為などを規制する法律
- B. カード会員データを保護するためのセキュリティ基準
- C. EU域内の個人データ処理と域外移転などを規律する規則
- D. 監査結論の基礎となる十分かつ適切な情報

答え・解説

Q0038 正答：C. EU域内の個人データ処理と域外移転などを規律する規則

解説：GDPRの要点は「EU域内の個人データ処理と域外移転などを規律する規則」である。名称が似た概念でも、対象とする処理や目的を区別する。

Q0039

監査・法務・標準

タグ：GDPR

用語：GDPRの確認ポイント3：EU域内の個人データ処理と域外移転などを規律する規則

用語と説明の組合せとして適切なものはどれか。論点は「GDPR」である。

- A. 不正アクセス禁止法：EU域内の個人データ処理と域外移転などを規律する規則
- B. PCI DSS：EU域内の個人データ処理と域外移転などを規律する規則
- C. 監査証拠：EU域内の個人データ処理と域外移転などを規律する規則
- D. GDPR：EU域内の個人データ処理と域外移転などを規律する規則

答え・解説

Q0039 正答：D. GDPR：EU域内の個人データ処理と域外移転などを規律する規則

解説：正しい組合せは「GDPR：EU域内の個人データ処理と域外移転などを規律する規則」。用語だけでなく、何を守り、何を処理する概念かを確認する。

Q0040

監査・法務・標準

タグ：GDPR

用語：GDPRの確認ポイント4：EU域内の個人データ処理と域外移転などを規律する規則

「GDPR」は、EU域内の個人データ処理と域外移転などを規律する規則。

- A. ○
- B. ×

答え・解説

Q0040 正答：○

解説：正しい。GDPRはEU域内の個人データ処理と域外移転などを規律する規則。実務では対象、目的、前提条件を併せて確認する。

Q0041

監査・法務・標準

タグ：GDPR

用語：GDPRの確認ポイント5：EU域内の個人データ処理と域外移転などを規律する規則

組織が「EU域内の個人データ処理と域外移転などを規律する規則」ために採用すべき概念又は仕組みはどれか。

- A. 不正アクセス禁止法
- B. GDPR
- C. PCI DSS
- D. 監査証拠

答え・解説

Q0041 正答：B. GDPR

解説：この目的に対応するのはGDPRである。EU域内の個人データ処理と域外移転などを規律する規則という機能・考え方を持つためである。

Q0042

監査・法務・標準

タグ：GDPR

用語：GDPRの確認ポイント6：EU域内の個人データ処理と域外移転などを規律する規則

「GDPR」について、誤解を避けるための説明として最も適切なものはどれか。

- A. 監査結論の基礎となる十分かつ適切な情報
- B. カード会員データを保護するためのセキュリティ基準
- C. EU域内の個人データ処理と域外移転などを規律する規則
- D. アクセス制御機能を侵害する行為などを規制する法律

答え・解説

Q0042 正答：C. EU域内の個人データ処理と域外移転などを規律する規則

解説：GDPRはEU域内の個人データ処理と域外移転などを規律する規則。似た用語との違いは、対象、時点、責任又は処理方法にある。

Q0043

監査・法務・標準

タグ：GDPR

用語：GDPRの確認ポイント7：EU域内の個人データ処理と域外移転などを規律する規則

「GDPR」は、アクセス制御機能を侵害する行為などを規制する法律。

A. ○

B. ×

答え・解説

Q0043 正答：×

解説：誤り。記述は不正アクセス禁止法の説明である。GDPRはEU域内の個人データ処理と域外移転などを規律する規則。

Q0044

監査・法務・標準

タグ：GDPR

用語：GDPRの確認ポイント8：EU域内の個人データ処理と域外移転などを規律する規則

次の状況で中心となる論点はどれか。「EU域内の個人データ処理と域外移転などを規律する規則」ことが求められている。

A. GDPR

B. PCI DSS

C. 監査証拠

D. 不正アクセス禁止法

答え・解説

Q0044 正答：A. GDPR

解説：中心となる論点はGDPRである。判断では、説明中の目的語と処理の方向を手掛かりにする。

Q0045

監査・法務・標準

タグ：GDPR

用語：GDPRの確認ポイント9：EU域内の個人データ処理と域外移転などを規律する規則

「EU域内の個人データ処理と域外移転などを規律する規則」という特徴を持つものを選び。

- A. 監査証拠
- B. GDPR
- C. PCI DSS
- D. 不正アクセス禁止法

答え・解説

Q0045 正答：B. GDPR

解説：GDPRが該当する。定義はEU域内の個人データ処理と域外移転などを規律する規則であり、他の候補とは機能が異なる。

Q0046

監査・法務・標準

タグ：不正アクセス禁止法

用語：不正アクセス禁止法の確認ポイント1：アクセス制御機能を侵害する行為などを規制する法律

次の説明に最も合う用語はどれか。アクセス制御機能を侵害する行為などを規制する法律

- A. サイバーセキュリティ基本法
- B. ISO/IEC 27002
- C. 不正アクセス禁止法
- D. 運用有効性テスト

答え・解説

Q0046 正答：C. 不正アクセス禁止法

解説：不正アクセス禁止法は、アクセス制御機能を侵害する行為などを規制する法律。ほかの選択肢は目的又は適用場面が異なる。

Q0047

監査・法務・標準

タグ：不正アクセス禁止法

用語：不正アクセス禁止法の確認ポイント2：アクセス制御機能を侵害する行為などを規制する法律

不正アクセス禁止法の説明として最も適切なものはどれか。

- A. 国のサイバーセキュリティ施策の基本理念と責務を定める法律
- B. 情報セキュリティ管理策の実施指針を示す国際規格
- C. 管理策が対象期間を通じて意図どおり実行されたかを確認する手続
- D. アクセス制御機能を侵害する行為などを規制する法律

答え・解説

Q0047 正答：D. アクセス制御機能を侵害する行為などを規制する法律

解説：不正アクセス禁止法の要点は「アクセス制御機能を侵害する行為などを規制する法律」である。名称が似た概念でも、対象とする処理や目的を区別する。

Q0048

監査・法務・標準

タグ：不正アクセス禁止法

用語：不正アクセス禁止法の確認ポイント3：アクセス制御機能を侵害する行為などを規制する法律

用語と説明の組合せとして適切なものはどれか。論点は「不正アクセス禁止法」である。

- A. 不正アクセス禁止法：アクセス制御機能を侵害する行為などを規制する法律
- B. サイバーセキュリティ基本法：アクセス制御機能を侵害する行為などを規制する法律
- C. ISO/IEC 27002：アクセス制御機能を侵害する行為などを規制する法律
- D. 運用有効性テスト：アクセス制御機能を侵害する行為などを規制する法律

答え・解説

Q0048 正答：A. 不正アクセス禁止法：アクセス制御機能を侵害する行為などを規制する法律

解説：正しい組合せは「不正アクセス禁止法：アクセス制御機能を侵害する行為などを規制する法律」。用語だけでなく、何を守り、何を処理する概念かを確認する。

Q0049

監査・法務・標準

タグ：不正アクセス禁止法

用語：不正アクセス禁止法の確認ポイント4：アクセス制御機能を侵害する行為などを規制する法律

「不正アクセス禁止法」は、アクセス制御機能を侵害する行為などを規制する法律。

- A. ○
- B. ×

答え・解説

Q0049 正答：○

解説：正しい。不正アクセス禁止法はアクセス制御機能を侵害する行為などを規制する法律。実務では対象、目的、前提条件を併せて確認する。

Q0050

監査・法務・標準

タグ：不正アクセス禁止法

用語：不正アクセス禁止法の確認ポイント5：アクセス制御機能を侵害する行為などを規制する法律

組織が「アクセス制御機能を侵害する行為などを規制する法律」ために採用すべき概念又は仕組みはどれか。

- A. サイバーセキュリティ基本法
- B. ISO/IEC 27002
- C. 不正アクセス禁止法
- D. 運用有効性テスト

答え・解説

Q0050 正答：C. 不正アクセス禁止法

解説：この目的に対応するのは不正アクセス禁止法である。アクセス制御機能を侵害する行為などを規制する法律という機能・考え方を持つためである。

Q0051

監査・法務・標準

タグ：不正アクセス禁止法

用語：不正アクセス禁止法の確認ポイント6：アクセス制御機能を侵害する行為などを規制する法律

「不正アクセス禁止法」について、誤解を避けるための説明として最も適切なものはどれか。

- A. 管理策が対象期間を通じて意図どおり実行されたかを確かめる手続
- B. 情報セキュリティ管理策の実施指針を示す国際規格
- C. 国のサイバーセキュリティ施策の基本理念と責務を定める法律
- D. アクセス制御機能を侵害する行為などを規制する法律

答え・解説

Q0051 正答：D. アクセス制御機能を侵害する行為などを規制する法律

解説：不正アクセス禁止法はアクセス制御機能を侵害する行為などを規制する法律。似た用語との違いは、対象、時点、責任又は処理方法にある。

Q0052

監査・法務・標準

タグ：不正アクセス禁止法

用語：不正アクセス禁止法の確認ポイント7：アクセス制御機能を侵害する行為などを規制する法律

「不正アクセス禁止法」は、国のサイバーセキュリティ施策の基本理念と責務を定める法律。

- A. ○
- B. ×

答え・解説

Q0052 正答：×

解説：誤り。記述はサイバーセキュリティ基本法の説明である。不正アクセス禁止法はアクセス制御機能を侵害する行為などを規制する法律。

Q0053

監査・法務・標準

タグ：不正アクセス禁止法

用語：不正アクセス禁止法の確認ポイント8：アクセス制御機能を侵害する行為などを規制する法律

次の状況で中心となる論点はどれか。「アクセス制御機能を侵害する行為などを規制する法律」ことが求められている。

- A. ISO/IEC 27002
- B. 不正アクセス禁止法
- C. 運用有効性テスト
- D. サイバーセキュリティ基本法

答え・解説

Q0053 正答：B. 不正アクセス禁止法

解説：中心となる論点は不正アクセス禁止法である。判断では、説明中の目的語と処理の方向を手掛かりにする。

Q0054

監査・法務・標準

タグ：不正アクセス禁止法

用語：不正アクセス禁止法の確認ポイント9：アクセス制御機能を侵害する行為などを規制する法律

「アクセス制御機能を侵害する行為などを規制する法律」という特徴を持つものを選べ。

- A. 運用有効性テスト
- B. ISO/IEC 27002
- C. 不正アクセス禁止法
- D. サイバーセキュリティ基本法

答え・解説

Q0054 正答：C. 不正アクセス禁止法

解説：不正アクセス禁止法が該当する。定義はアクセス制御機能を侵害する行為などを規制する法律であり、他の候補とは機能が異なる。

Q0055

監査・法務・標準

タグ：サイバーセキュリティ基本法

用語：サイバーセキュリティ基本法の確認ポイント1：国のサイバーセキュリティ施策の基本理念と責務を定める法律

次の説明に最も合う用語はどれか。国のサイバーセキュリティ施策の基本理念と責務を定める法律

- A. PCI DSS
- B. NIST SP 800-53
- C. 個人情報保護法
- D. サイバーセキュリティ基本法

答え・解説

Q0055 正答：D. サイバーセキュリティ基本法

解説：サイバーセキュリティ基本法は、国のサイバーセキュリティ施策の基本理念と責務を定める法律。ほかの選択肢は目的又は適用場面が異なる。

Q0056

監査・法務・標準

タグ：サイバーセキュリティ基本法

用語：サイバーセキュリティ基本法の確認ポイント2：国のサイバーセキュリティ施策の基本理念と責務を定める法律

サイバーセキュリティ基本法の説明として最も適切なものはどれか。

- A. 国のサイバーセキュリティ施策の基本理念と責務を定める法律
- B. カード会員データを保護するためのセキュリティ基準
- C. 情報システムと組織向けのセキュリティ・プライバシー管理策カタログ
- D. 個人情報の適正な取扱いと本人の権利利益を保護する法律

答え・解説

Q0056 正答：A. 国のサイバーセキュリティ施策の基本理念と責務を定める法律

解説：サイバーセキュリティ基本法の要点は「国のサイバーセキュリティ施策の基本理念と責務を定める法律」である。名称が似た概念でも、対象とする処理や目的を区別する。

Q0057

監査・法務・標準

タグ：サイバーセキュリティ基本法

用語：サイバーセキュリティ基本法の確認ポイント3：国のサイバーセキュリティ施策の基本理念と責務を定める法律

用語と説明の組合せとして適切なものはどれか。論点は「サイバーセキュリティ基本法」である。

- A. PCI DSS：国のサイバーセキュリティ施策の基本理念と責務を定める法律
- B. サイバーセキュリティ基本法：国のサイバーセキュリティ施策の基本理念と責務を定める法律
- C. NIST SP 800-53：国のサイバーセキュリティ施策の基本理念と責務を定める法律
- D. 個人情報保護法：国のサイバーセキュリティ施策の基本理念と責務を定める法律

答え・解説

Q0057 正答：B. サイバーセキュリティ基本法：国のサイバーセキュリティ施策の基本理念と責務を定める法律

解説：正しい組合せは「サイバーセキュリティ基本法：国のサイバーセキュリティ施策の基本理念と責務を定める法律」。用語だけでなく、何を守り、何を処理する概念かを確認する。

Q0058

監査・法務・標準

タグ：サイバーセキュリティ基本法

用語：サイバーセキュリティ基本法の確認ポイント4：国のサイバーセキュリティ施策の基本理念と責務を定める法律

「サイバーセキュリティ基本法」は、国のサイバーセキュリティ施策の基本理念と責務を定める法律。

- A. ○
- B. ×

答え・解説

Q0058 正答：○

解説：正しい。サイバーセキュリティ基本法は国のサイバーセキュリティ施策の基本理念と責務を定める法律。実務では対象、目的、前提条件を併せて確認する。

Q0059

監査・法務・標準

タグ：サイバーセキュリティ基本法

用語：サイバーセキュリティ基本法の確認ポイント5：国のサイバーセキュリティ施策の基本理念と責務を定める法律

組織が「国のサイバーセキュリティ施策の基本理念と責務を定める法律」ために採用すべき概念又は仕組みはどれか。

- A. PCI DSS
- B. NIST SP 800-53
- C. 個人情報保護法
- D. サイバーセキュリティ基本法

答え・解説

Q0059 正答：D. サイバーセキュリティ基本法

解説：この目的に対応するのはサイバーセキュリティ基本法である。国のサイバーセキュリティ施策の基本理念と責務を定める法律という機能・考え方を持つためである。

Q0060

監査・法務・標準

タグ：サイバーセキュリティ基本法

用語：サイバーセキュリティ基本法の確認ポイント6：国のサイバーセキュリティ施策の基本理念と責務を定める法律

「サイバーセキュリティ基本法」について、誤解を避けるための説明として最も適切なものはどれか。

- A. 国のサイバーセキュリティ施策の基本理念と責務を定める法律
- B. 個人情報の適正な取扱いと本人の権利利益を保護する法律
- C. 情報システムと組織向けのセキュリティ・プライバシー管理策カタログ
- D. カード会員データを保護するためのセキュリティ基準

答え・解説

Q0060 正答：A. 国のサイバーセキュリティ施策の基本理念と責務を定める法律

解説：サイバーセキュリティ基本法は国のサイバーセキュリティ施策の基本理念と責務を定める法律。似た用語との違いは、対象、時点、責任又は処理方法にある。

Q0061

監査・法務・標準

タグ：サイバーセキュリティ基本法

用語：サイバーセキュリティ基本法の確認ポイント7：国のサイバーセキュリティ施策の基本理念と責務を定める法律

「サイバーセキュリティ基本法」は、カード会員データを保護するためのセキュリティ基準。

A. ○

B. ×

答え・解説

Q0061 正答：×

解説：誤り。記述はPCI DSSの説明である。サイバーセキュリティ基本法は国のサイバーセキュリティ施策の基本理念と責務を定める法律。

Q0062

監査・法務・標準

タグ：サイバーセキュリティ基本法

用語：サイバーセキュリティ基本法の確認ポイント8：国のサイバーセキュリティ施策の基本理念と責務を定める法律

次の状況で中心となる論点はどれか。「国のサイバーセキュリティ施策の基本理念と責務を定める法律」ことが求められている。

A. NIST SP 800-53

B. 個人情報保護法

C. サイバーセキュリティ基本法

D. PCI DSS

答え・解説

Q0062 正答：C. サイバーセキュリティ基本法

解説：中心となる論点はサイバーセキュリティ基本法である。判断では、説明中の目的語と処理の方向を手掛かりにする。

Q0063

監査・法務・標準

タグ：サイバーセキュリティ基本法

用語：サイバーセキュリティ基本法の確認ポイント9：国のサイバーセキュリティ施策の基本理念と責務を定める法律

「国のサイバーセキュリティ施策の基本理念と責務を定める法律」という特徴を持つものを選べ。

- A. 個人情報保護法
- B. NIST SP 800-53
- C. PCI DSS
- D. サイバーセキュリティ基本法

答え・解説

Q0063 正答：D. サイバーセキュリティ基本法

解説：サイバーセキュリティ基本法が該当する。定義は国のサイバーセキュリティ施策の基本理念と責務を定める法律であり、他の候補とは機能が異なる。

Q0064

監査・法務・標準

タグ：PCI DSS

用語：PCI DSSの確認ポイント1：カード会員データを保護するためのセキュリティ基準

次の説明に最も合う用語はどれか。カード会員データを保護するためのセキュリティ基準

- A. PCI DSS
- B. ISO/IEC 27002
- C. 監査の独立性
- D. GDPR

答え・解説

Q0064 正答：A. PCI DSS

解説：PCI DSSは、カード会員データを保護するためのセキュリティ基準。ほかの選択肢は目的又は適用場面が異なる。

Q0065

監査・法務・標準

タグ：PCI DSS

用語：PCI DSSの確認ポイント2：カード会員データを保護するためのセキュリティ基準

PCI DSSの説明として最も適切なものはどれか。

- A. 情報セキュリティ管理策の実施指針を示す国際規格
- B. カード会員データを保護するためのセキュリティ基準
- C. 監査人が対象業務から独立し客観的に判断できる状態
- D. EU域内の個人データ処理と域外移転などを規律する規則

答え・解説

Q0065 正答：B. カード会員データを保護するためのセキュリティ基準

解説：PCI DSSの要点は「カード会員データを保護するためのセキュリティ基準」である。名称が似た概念でも、対象とする処理や目的を区別する。

Q0066

監査・法務・標準

タグ：PCI DSS

用語：PCI DSSの確認ポイント3：カード会員データを保護するためのセキュリティ基準

用語と説明の組合せとして適切なものはどれか。論点は「PCI DSS」である。

- A. ISO/IEC 27002：カード会員データを保護するためのセキュリティ基準
- B. 監査の独立性：カード会員データを保護するためのセキュリティ基準
- C. PCI DSS：カード会員データを保護するためのセキュリティ基準
- D. GDPR：カード会員データを保護するためのセキュリティ基準

答え・解説

Q0066 正答：C. PCI DSS：カード会員データを保護するためのセキュリティ基準

解説：正しい組合せは「PCI DSS：カード会員データを保護するためのセキュリティ基準」。用語だけでなく、何を守り、何を処理する概念かを確認する。

Q0067

監査・法務・標準

タグ：PCI DSS

用語：PCI DSSの確認ポイント4：カード会員データを保護するためのセキュリティ基準

「PCI DSS」は、カード会員データを保護するためのセキュリティ基準。

A. ○

B. ×

答え・解説

Q0067 正答：○

解説：正しい。PCI DSSはカード会員データを保護するためのセキュリティ基準。実務では対象、目的、前提条件を併せて確認する。

Q0068

監査・法務・標準

タグ：PCI DSS

用語：PCI DSSの確認ポイント5：カード会員データを保護するためのセキュリティ基準

組織が「カード会員データを保護するためのセキュリティ基準」ために採用すべき概念又は仕組みはどれか。

A. PCI DSS

B. ISO/IEC 27002

C. 監査の独立性

D. GDPR

答え・解説

Q0068 正答：A. PCI DSS

解説：この目的に対応するのはPCI DSSである。カード会員データを保護するためのセキュリティ基準という機能・考え方を持つためである。

Q0069

監査・法務・標準

タグ：PCI DSS

用語：PCI DSSの確認ポイント6：カード会員データを保護するためのセキュリティ基準

「PCI DSS」について、誤解を避けるための説明として最も適切なものはどれか。

- A. EU域内の個人データ処理と域外移転などを規律する規則
- B. カード会員データを保護するためのセキュリティ基準
- C. 監査人が対象業務から独立し客観的に判断できる状態
- D. 情報セキュリティ管理策の実施指針を示す国際規格

答え・解説

Q0069 正答：B. カード会員データを保護するためのセキュリティ基準

解説：PCI DSSはカード会員データを保護するためのセキュリティ基準。似た用語との違いは、対象、時点、責任又は処理方法にある。

Q0070

監査・法務・標準

タグ：PCI DSS

用語：PCI DSSの確認ポイント7：カード会員データを保護するためのセキュリティ基準

「PCI DSS」は、情報セキュリティ管理策の実施指針を示す国際規格。

- A. ○
- B. ×

答え・解説

Q0070 正答：×

解説：誤り。記述はISO/IEC 27002の説明である。PCI DSSはカード会員データを保護するためのセキュリティ基準。

Q0071

監査・法務・標準

タグ：PCI DSS

用語：PCI DSSの確認ポイント8：カード会員データを保護するためのセキュリティ基準

次の状況で中心となる論点はどれか。「カード会員データを保護するためのセキュリティ基準」ことが求められている。

- A. 監査の独立性
- B. GDPR
- C. ISO/IEC 27002
- D. PCI DSS

答え・解説

Q0071 正答：D. PCI DSS

解説：中心となる論点はPCI DSSである。判断では、説明中の目的語と処理の方向を手掛かりにする。

Q0072

監査・法務・標準

タグ：PCI DSS

用語：PCI DSSの確認ポイント9：カード会員データを保護するためのセキュリティ基準

「カード会員データを保護するためのセキュリティ基準」という特徴を持つものを選び。

- A. PCI DSS
- B. GDPR
- C. 監査の独立性
- D. ISO/IEC 27002

答え・解説

Q0072 正答：A. PCI DSS

解説：PCI DSSが該当する。定義はカード会員データを保護するためのセキュリティ基準であり、他の候補とは機能が異なる。

Q0073

監査・法務・標準

タグ：ISO/IEC 27002

用語：ISO/IEC 27002の確認ポイント1：情報セキュリティ管理策の実施指針を示す国際規格

次の説明に最も合う用語はどれか。情報セキュリティ管理策の実施指針を示す国際規格

- A. NIST SP 800-53
- B. ISO/IEC 27002
- C. 監査証拠
- D. 不正アクセス禁止法

答え・解説

Q0073 正答：B. ISO/IEC 27002

解説：ISO/IEC 27002は、情報セキュリティ管理策の実施指針を示す国際規格。ほかの選択肢は目的又は適用場面が異なる。

Q0074

監査・法務・標準

タグ：ISO/IEC 27002

用語：ISO/IEC 27002の確認ポイント2：情報セキュリティ管理策の実施指針を示す国際規格

ISO/IEC 27002の説明として最も適切なものはどれか。

- A. 情報システムと組織向けのセキュリティ・プライバシー管理策カタログ
- B. 監査結論の基礎となる十分かつ適切な情報
- C. 情報セキュリティ管理策の実施指針を示す国際規格
- D. アクセス制御機能を侵害する行為などを規制する法律

答え・解説

Q0074 正答：C. 情報セキュリティ管理策の実施指針を示す国際規格

解説：ISO/IEC 27002の要点は「情報セキュリティ管理策の実施指針を示す国際規格」である。名称が似た概念でも、対象とする処理や目的を区別する。

Q0075

監査・法務・標準

タグ：ISO/IEC 27002

用語：ISO/IEC 27002の確認ポイント3：情報セキュリティ管理策の実施指針を示す国際規格

用語と説明の組合せとして適切なものはどれか。論点は「ISO/IEC 27002」である。

- A. NIST SP 800-53：情報セキュリティ管理策の実施指針を示す国際規格
- B. 監査証拠：情報セキュリティ管理策の実施指針を示す国際規格
- C. 不正アクセス禁止法：情報セキュリティ管理策の実施指針を示す国際規格
- D. ISO/IEC 27002：情報セキュリティ管理策の実施指針を示す国際規格

答え・解説

Q0075 正答：D. ISO/IEC 27002：情報セキュリティ管理策の実施指針を示す国際規格

解説：正しい組合せは「ISO/IEC 27002：情報セキュリティ管理策の実施指針を示す国際規格」。用語だけでなく、何を守り、何を処理する概念かを確認する。

Q0076

監査・法務・標準

タグ：ISO/IEC 27002

用語：ISO/IEC 27002の確認ポイント4：情報セキュリティ管理策の実施指針を示す国際規格

「ISO/IEC 27002」は、情報セキュリティ管理策の実施指針を示す国際規格。

- A. ○
- B. ×

答え・解説

Q0076 正答：○

解説：正しい。ISO/IEC 27002は情報セキュリティ管理策の実施指針を示す国際規格。実務では対象、目的、前提条件を併せて確認する。

Q0077

監査・法務・標準

タグ：ISO/IEC 27002

用語：ISO/IEC 27002の確認ポイント5：情報セキュリティ管理策の実施指針を示す国際規格

組織が「情報セキュリティ管理策の実施指針を示す国際規格」ために採用すべき概念又は仕組みはどれか。

- A. NIST SP 800-53
- B. ISO/IEC 27002
- C. 監査証拠
- D. 不正アクセス禁止法

答え・解説

Q0077 正答：B. ISO/IEC 27002

解説：この目的に対応するのはISO/IEC 27002である。情報セキュリティ管理策の実施指針を示す国際規格という機能・考え方を持つためである。

Q0078

監査・法務・標準

タグ：ISO/IEC 27002

用語：ISO/IEC 27002の確認ポイント6：情報セキュリティ管理策の実施指針を示す国際規格

「ISO/IEC 27002」について、誤解を避けるための説明として最も適切なものはどれか。

- A. アクセス制御機能を侵害する行為などを規制する法律
- B. 監査結論の基礎となる十分かつ適切な情報
- C. 情報セキュリティ管理策の実施指針を示す国際規格
- D. 情報システムと組織向けのセキュリティ・プライバシー管理策カタログ

答え・解説

Q0078 正答：C. 情報セキュリティ管理策の実施指針を示す国際規格

解説：ISO/IEC 27002は情報セキュリティ管理策の実施指針を示す国際規格。似た用語との違いは、対象、時点、責任又は処理方法にある。

Q0079

監査・法務・標準

タグ：ISO/IEC 27002

用語：ISO/IEC 27002の確認ポイント7：情報セキュリティ管理策の実施指針を示す国際規格

「ISO/IEC 27002」は、情報システムと組織向けのセキュリティ・プライバシー管理策カタログ。

A. ○

B. ×

答え・解説

Q0079 正答：×

解説：誤り。記述はNIST SP 800-53の説明である。ISO/IEC 27002は情報セキュリティ管理策の実施指針を示す国際規格。

Q0080

監査・法務・標準

タグ：ISO/IEC 27002

用語：ISO/IEC 27002の確認ポイント8：情報セキュリティ管理策の実施指針を示す国際規格

次の状況で中心となる論点はどれか。「情報セキュリティ管理策の実施指針を示す国際規格」ことが求められている。

A. ISO/IEC 27002

B. 監査証拠

C. 不正アクセス禁止法

D. NIST SP 800-53

答え・解説

Q0080 正答：A. ISO/IEC 27002

解説：中心となる論点はISO/IEC 27002である。判断では、説明中の目的語と処理の方向を手掛かりにする。

Q0081

監査・法務・標準

タグ：ISO/IEC 27002

用語：ISO/IEC 27002の確認ポイント9：情報セキュリティ管理策の実施指針を示す国際規格

「情報セキュリティ管理策の実施指針を示す国際規格」という特徴を持つものを選び。

- A. 不正アクセス禁止法
- B. ISO/IEC 27002
- C. 監査証拠
- D. NIST SP 800-53

答え・解説

Q0081 正答：B. ISO/IEC 27002

解説：ISO/IEC 27002が該当する。定義は情報セキュリティ管理策の実施指針を示す国際規格であり、他の候補とは機能が異なる。

Q0082

監査・法務・標準

タグ：NIST SP 800-53

用語：NIST SP 800-53の確認ポイント1：情報システムと組織向けのセキュリティ・プライバシー管理策カタログ
次の説明に最も合う用語はどれか。情報システムと組織向けのセキュリティ・プライバシー管理策カタログ

- A. 監査の独立性
- B. 運用有効性テスト
- C. NIST SP 800-53
- D. サイバーセキュリティ基本法

答え・解説

Q0082 正答：C. NIST SP 800-53

解説：NIST SP 800-53は、情報システムと組織向けのセキュリティ・プライバシー管理策カタログ。ほかの選択肢は目的又は適用場面が異なる。

Q0083

監査・法務・標準

タグ：NIST SP 800-53

用語：NIST SP 800-53の確認ポイント2：情報システムと組織向けのセキュリティ・プライバシー管理策カタログ

NIST SP 800-53の説明として最も適切なものはどれか。

- A. 監査人が対象業務から独立し客観的に判断できる状態
- B. 管理策が対象期間を通じて意図どおり実行されたかを確認する手続
- C. 国のサイバーセキュリティ施策の基本理念と責務を定める法律
- D. 情報システムと組織向けのセキュリティ・プライバシー管理策カタログ

答え・解説

Q0083 正答：D. 情報システムと組織向けのセキュリティ・プライバシー管理策カタログ

解説：NIST SP 800-53の要点は「情報システムと組織向けのセキュリティ・プライバシー管理策カタログ」である。名称が似た概念でも、対象とする処理や目的を区別する。

Q0084

監査・法務・標準

タグ：NIST SP 800-53

用語：NIST SP 800-53の確認ポイント3：情報システムと組織向けのセキュリティ・プライバシー管理策カタログ

用語と説明の組合せとして適切なものはどれか。論点は「NIST SP 800-53」である。

- A. NIST SP 800-53：情報システムと組織向けのセキュリティ・プライバシー管理策カタログ
- B. 監査の独立性：情報システムと組織向けのセキュリティ・プライバシー管理策カタログ
- C. 運用有効性テスト：情報システムと組織向けのセキュリティ・プライバシー管理策カタログ
- D. サイバーセキュリティ基本法：情報システムと組織向けのセキュリティ・プライバシー管理策カタログ

答え・解説

Q0084 正答：A. NIST SP 800-53：情報システムと組織向けのセキュリティ・プライバシー管理策カタログ

解説：正しい組合せは「NIST SP 800-53：情報システムと組織向けのセキュリティ・プライバシー管理策カタログ」。用語だけでなく、何を守り、何を処理する概念かを確認する。

Q0085

監査・法務・標準

タグ：NIST SP 800-53

用語：NIST SP 800-53の確認ポイント4：情報システムと組織向けのセキュリティ・プライバシー管理策カタログ

「NIST SP 800-53」は、情報システムと組織向けのセキュリティ・プライバシー管理策カタログ。

- A. ○
- B. ×

答え・解説

Q0085 正答：○

解説：正しい。NIST SP 800-53は情報システムと組織向けのセキュリティ・プライバシー管理策カタログ。実務では対象、目的、前提条件を併せて確認する。

Q0086

監査・法務・標準

タグ：NIST SP 800-53

用語：NIST SP 800-53の確認ポイント5：情報システムと組織向けのセキュリティ・プライバシー管理策カタログ

組織が「情報システムと組織向けのセキュリティ・プライバシー管理策カタログ」ために採用すべき概念又は仕組みはどれか。

- A. 監査の独立性
- B. 運用有効性テスト
- C. NIST SP 800-53
- D. サイバーセキュリティ基本法

答え・解説

Q0086 正答：C. NIST SP 800-53

解説：この目的に対応するのはNIST SP 800-53である。情報システムと組織向けのセキュリティ・プライバシー管理策カタログという機能・考え方を持つためである。

Q0087

監査・法務・標準

タグ：NIST SP 800-53

用語：NIST SP 800-53の確認ポイント6：情報システムと組織向けのセキュリティ・プライバシー管理策カタログ

「NIST SP 800-53」について、誤解を避けるための説明として最も適切なものはどれか。

- A. 国のサイバーセキュリティ施策の基本理念と責務を定める法律
- B. 管理策が対象期間を通じて意図どおり実行されたかを確認する手続
- C. 監査人が対象業務から独立し客観的に判断できる状態
- D. 情報システムと組織向けのセキュリティ・プライバシー管理策カタログ

答え・解説

Q0087 正答：D. 情報システムと組織向けのセキュリティ・プライバシー管理策カタログ

解説：NIST SP 800-53は情報システムと組織向けのセキュリティ・プライバシー管理策カタログ。似た用語との違いは、対象、時点、責任又は処理方法にある。

Q0088

監査・法務・標準

タグ：NIST SP 800-53

用語：NIST SP 800-53の確認ポイント7：情報システムと組織向けのセキュリティ・プライバシー管理策カタログ

「NIST SP 800-53」は、監査人が対象業務から独立し客観的に判断できる状態。

- A. ○
- B. ×

答え・解説

Q0088 正答：×

解説：誤り。記述は監査の独立性の説明である。NIST SP 800-53は情報システムと組織向けのセキュリティ・プライバシー管理策カタログ。

Q0089

監査・法務・標準

タグ：NIST SP 800-53

用語：NIST SP 800-53の確認ポイント8：情報システムと組織向けのセキュリティ・プライバシー管理策カタログ
次の状況で中心となる論点はどれか。「情報システムと組織向けのセキュリティ・プライバシー管理策カタログ」ことが求められている。

- A. 運用有効性テスト
- B. NIST SP 800-53
- C. サイバーセキュリティ基本法
- D. 監査の独立性

答え・解説

Q0089 正答：B. NIST SP 800-53

解説：中心となる論点はNIST SP 800-53である。判断では、説明中の目的語と処理の方向を手掛かりにする。

Q0090

監査・法務・標準

タグ：NIST SP 800-53

用語：NIST SP 800-53の確認ポイント9：情報システムと組織向けのセキュリティ・プライバシー管理策カタログ
「情報システムと組織向けのセキュリティ・プライバシー管理策カタログ」という特徴を持つものを選べ。

- A. サイバーセキュリティ基本法
- B. 運用有効性テスト
- C. NIST SP 800-53
- D. 監査の独立性

答え・解説

Q0090 正答：C. NIST SP 800-53

解説：NIST SP 800-53が該当する。定義は情報システムと組織向けのセキュリティ・プライバシー管理策カタログであり、他の候補とは機能が異なる。